

東証1部 4631



# DIC株式会社

## 2019年度第1四半期決算 説明資料

2019年5月

Color & Comfort

## ハイライト

### 1Qの振り返り

- 売上高は、減収。中国に起因する景気減速の影響がみられ、電気・電子や自動車向け材料を中心に広範な分野で出荷が落ち込んだ
- 営業利益は、大幅減益。期初の想定どおり、原料価格のマイナス影響が続いたことに加えて、高付加価値製品の出荷が低調に推移したことにより減益幅が拡大した

### 通期の見通し

- 見通しは変更しないが、下振れリスク含み。当社製品の需要が上向く2Q（4-6月）の業績と外部環境の動向を見極めたい
- 事業の質的転換と新事業の創出の取り組みを進め、製品価格の改定、高付加価値製品の拡販により増収・営業増益を目指す

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当第1四半期は、2019年1月1日から3月31日までの3ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

## 業績概要

### 売上高

中国に起因する景気減速の影響がみられ、電気・電子や自動車向け材料を中心に広範な分野で出荷が落ち込んだ

### 営業利益

期初の想定どおり、原料価格のマイナス影響が続いたことに加えて、高付加価値製品の出荷が低調に推移したことにより減益幅が拡大した

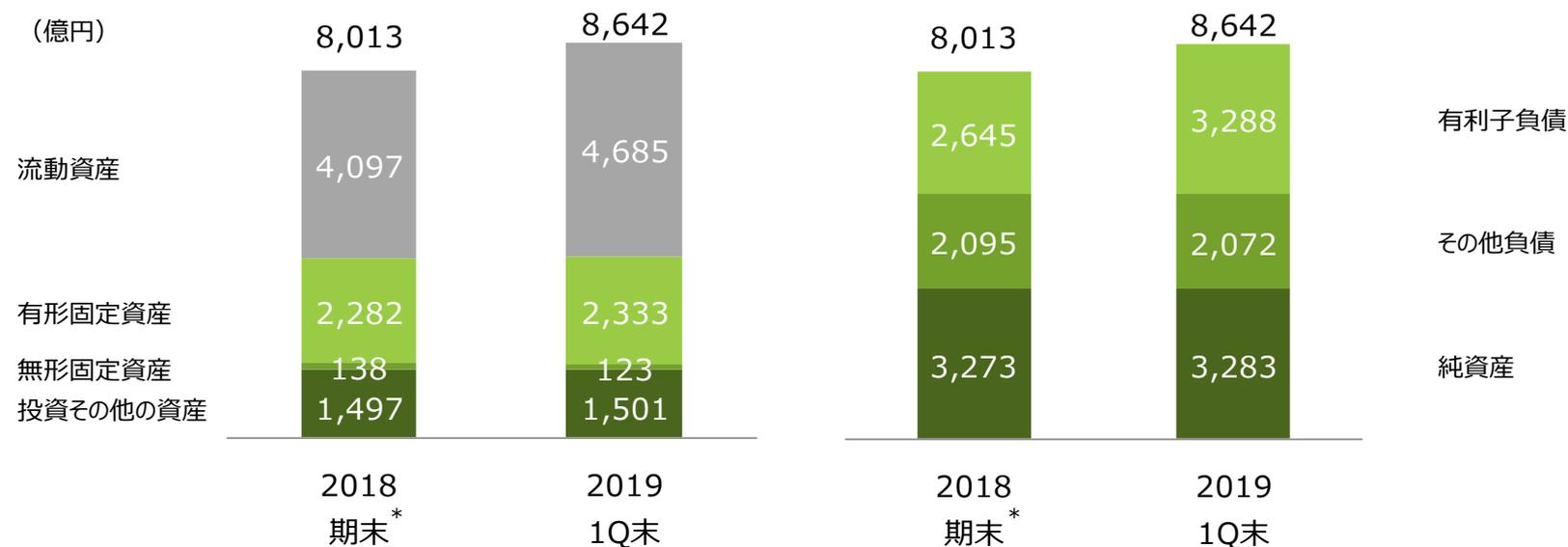
(億円)	2018 1Q	2019 1Q	増減比	現地通貨 ベース 増減比
<b>売上高</b>	1,962	<b>1,907</b>	△2.8%	△0.4%
<b>営業利益</b>	110	<b>81</b>	△26.7%	△24.9%
営業利益率	5.6%	<b>4.2%</b>	—	—
<b>経常利益</b>	110	<b>81</b>	△26.3%	—
<b>純利益*</b>	74	<b>53</b>	△28.4%	—
1株当たり純利益 (円)	78.29	<b>56.02</b>	—	—
<b>EBITDA**</b>	182	<b>153</b>	△15.8%	—
平均レート	USD/円	108.65	<b>110.17</b>	+ 1.4%
	EUR/円	133.61	<b>125.09</b>	△6.4%

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

\*\* EBITDA: 親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額

# 財務体質

## バランスシート



## 財務体質

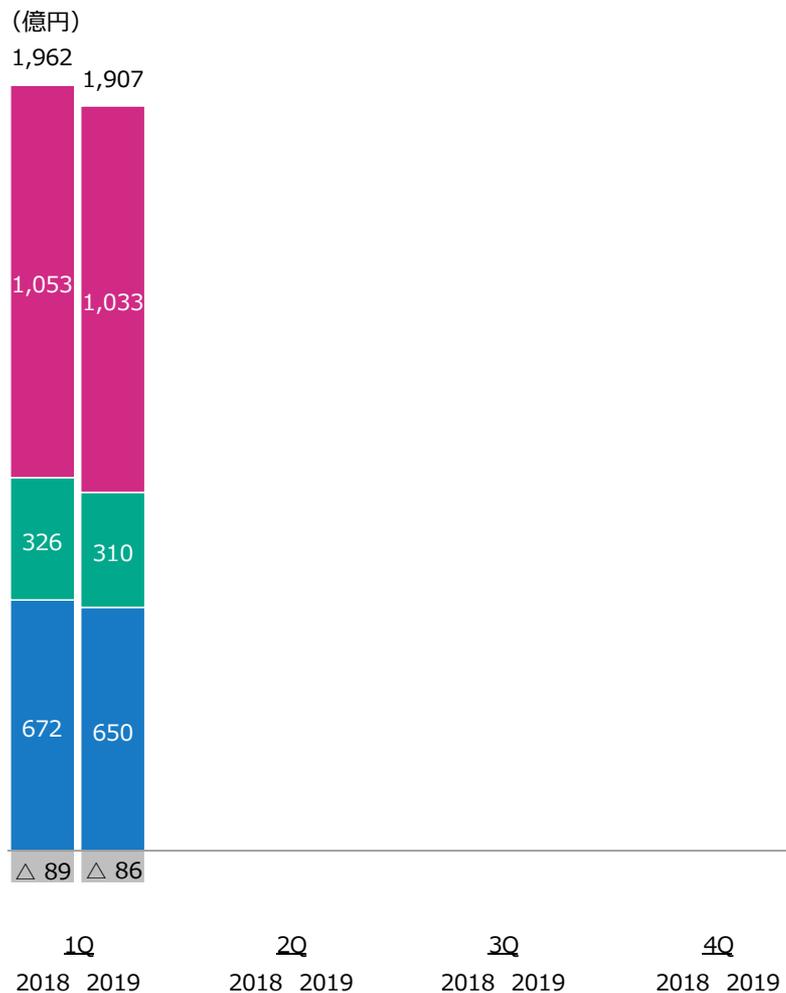
(億円)	2018 期末	2019 1Q末	増減
有利子負債	2,645	<b>3,288</b>	643
ネット有利子負債	2,447	<b>2,664</b>	217
D/CLレシオ**	44.7%	<b>50.0%</b>	
自己資本比率*	37.3%	<b>34.5%</b>	
1株当たり純資産 (円)	3,158.05	<b>3,151.79</b>	
期末レート USD/円	110.39	<b>110.75</b>	

\* 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等を当期首から適用しており、2018期末数値は当該会計基準等を遡って適用しています

\*\* D/CLレシオ： 有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

# セグメント別四半期業績推移 (参考)

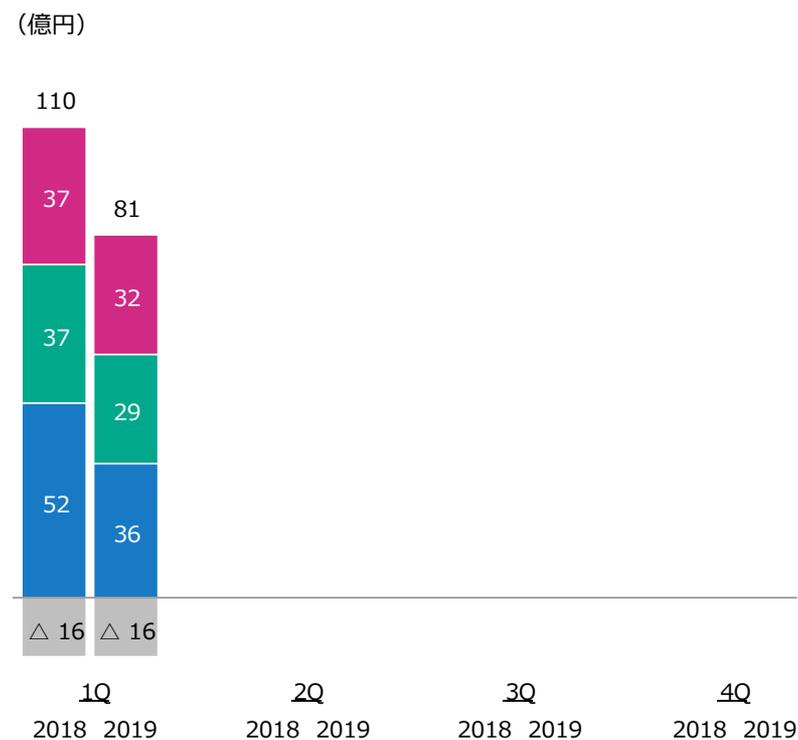
## 売上高



## 営業利益

通期の見通しに対する進捗率

	1Q	2Q	3Q	4Q
2019 (%)	15.6			
2018 (%)	21.6	47.7	71.4	94.9



パッケージング&グラフィック

カラー&ディスプレイ

ファンクショナルプロダクツ

その他、全社・消去

注) 2019年度より中期経営計画「DIC111」の開始に伴い、セグメントを変更しました。前年実績は変更後のセグメントに組み替えています。

# セグメント別業績

(億円)

	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018 1Q	2019 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 1Q	2019 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 1Q	2019 1Q
<b>パッケージング&amp;グラフィック</b>	1,053	<b>1,033</b>	△ 20	△1.9%	+ 1.4%	37	<b>32</b>	△ 5	△11.8%	△10.5%	3.5%	<b>3.1%</b>
日本	287	<b>279</b>	△ 8	△2.7%	△2.7%	13	<b>12</b>	△ 1	△8.8%	△8.8%	4.6%	<b>4.3%</b>
米州・欧州	627	<b>614</b>	△ 13	△2.0%	+ 2.6%	18	<b>13</b>	△ 5	△27.5%	△24.7%	2.8%	<b>2.1%</b>
アジア他	172	<b>168</b>	△ 4	△1.9%	+ 2.7%	6	<b>7</b>	1	+ 19.5%	+ 22.7%	3.4%	<b>4.2%</b>
連結調整	△ 33	△ <b>29</b>	4	-	-	△ 0	<b>0</b>	0	-	-	-	-
<b>カラー&amp;ディスプレイ</b>	326	<b>310</b>	△ 16	△5.1%	△3.6%	37	<b>29</b>	△ 8	△22.3%	△19.7%	11.4%	<b>9.3%</b>
日本	84	<b>77</b>	△ 7	△8.0%	△8.0%	14	<b>12</b>	△ 2	△17.6%	△17.6%	17.0%	<b>15.3%</b>
海外	275	<b>262</b>	△ 13	△4.5%	△2.6%	23	<b>17</b>	△ 6	△24.6%	△20.3%	8.2%	<b>6.5%</b>
連結調整	△ 32	△ <b>30</b>	2	-	-	0	<b>0</b>	△ 0	-	-	-	-
<b>ファンクショナルプロダクト</b>	672	<b>650</b>	△ 22	△3.3%	△2.2%	52	<b>36</b>	△ 16	△31.1%	△30.4%	7.7%	<b>5.5%</b>
日本	493	<b>483</b>	△ 10	△2.0%	△2.0%	35	<b>22</b>	△ 13	△37.7%	△37.7%	7.1%	<b>4.5%</b>
海外	244	<b>226</b>	△ 18	△7.4%	△4.6%	17	<b>13</b>	△ 4	△20.9%	△18.2%	7.0%	<b>5.9%</b>
連結調整	△ 65	△ <b>59</b>	6	-	-	△ 0	<b>0</b>	0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 89	△ <b>86</b>	3	-	-	△ 16	△ <b>16</b>	△ 0	-	-	-	-
<b>連結合計</b>	<b>1,962</b>	<b>1,907</b>	△ 55	△2.8%	△0.4%	<b>110</b>	<b>81</b>	△ 29	△26.7%	△24.9%	<b>5.6%</b>	<b>4.2%</b>
USD/円	108.65	<b>110.17</b>		+ 1.4%		108.65	<b>110.17</b>		+ 1.4%			
EUR/円	133.61	<b>125.09</b>		△6.4%		133.61	<b>125.09</b>		△6.4%			

注) 2019年度より中期経営計画「DIC111」の開始に伴い、セグメントを変更しました。前年実績は変更後のセグメントに組み替えています。  
セグメント変更については17ページをご覧ください。

中期経営計画「DIC111」  
<http://www.dic-global.com/ja/ir/plan.html>



## パッケージング&グラフィック

### 売上高

- 現地通貨ベースでは1.4%の増収となったが、ユーロ及び新興国通貨安の影響により円貨ベースで目減り
- パッケージ用インキは景気減速の中でも堅調に推移

### 営業利益

- 製品価格の改定を進めたが、出版用インキを中心として原料価格上昇の影響を受け減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018 1Q	2019 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 1Q	2019 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 1Q	2019 1Q
パッケージング&グラフィック	1,053	1,033	△ 20	△1.9%	+ 1.4%	37	32	△ 5	△11.8%	△10.5%	3.5%	3.1%
日本	287	279	△ 8	△2.7%	△2.7%	13	12	△ 1	△8.8%	△8.8%	4.6%	4.3%
米州・欧州	627	614	△ 13	△2.0%	+ 2.6%	18	13	△ 5	△27.5%	△24.7%	2.8%	2.1%
アジア他	172	168	△ 4	△1.9%	+ 2.7%	6	7	1	+ 19.5%	+ 22.7%	3.4%	4.2%
連結調整	△ 33	△ 29	4	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-

### 主要製品の売上高推移

(億円)	増減比	
パッケージ用インキ*	+ 3%	新興国を中心に増収
出版用インキ*	△5%	アジアで出荷が伸びたが、全体としては需要減少により減収
ジェットインキ	+ 30%	
ポリスチレン	△4%	出荷数量は伸びたが、原料価格低下による製品値下げの影響により減収
多層フィルム	△3%	

\*現地通貨ベース増減比

## カラー&ディスプレイ

### 売上高

- 機能性顔料の堅調な出荷の一方で、一般顔料の出荷低調やTFT液晶の製品価格低下により減収

### 営業利益

- TFT液晶の製品価格低下のほか、一般顔料の出荷低調により減益
- また、中国における環境規制の強化も利益を圧迫した

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018 1Q	2019 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 1Q	2019 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 1Q	2019 1Q
カラー&ディスプレイ	326	310	△16	△5.1%	△3.6%	37	29	△8	△22.3%	△19.7%	11.4%	9.3%
日本	84	77	△7	△8.0%	△8.0%	14	12	△2	△17.6%	△17.6%	17.0%	15.3%
海外	275	262	△13	△4.5%	△2.6%	23	17	△6	△24.6%	△20.3%	8.2%	6.5%
連結調整	△32	△30	2	-	-	0	0	△0	-	-	-	-

### 主要製品の売上高推移

(億円)	増減比	
一般顔料	△7%	インキ用の需要減などにより減収
機能性顔料	+9%	カラーフィルタ用、化粧品用が伸長
液晶	△21%	出荷数量は伸びたが、製品価格の低下により減収
ヘルスケア食品	+13%	

# ファンクショナルプロダクツ

## 売上高

- 景気減速の影響により広範な分野で出荷が落ち込んだ

## 営業利益

- 前期から取り組んでいる製品価格改定の効果は発現したが、エポキシ樹脂など高付加価値製品の出荷が落ち込んだほか、物流やユーティリティコストの増加により大幅減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018 1Q	2019 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 1Q	2019 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 1Q	2019 1Q
ファンクショナルプロダクツ	672	650	△ 22	△3.3%	△2.2%	52	36	△ 16	△31.1%	△30.4%	7.7%	5.5%
日本	493	483	△ 10	△2.0%	△2.0%	35	22	△ 13	△37.7%	△37.7%	7.1%	4.5%
海外	244	226	△ 18	△7.4%	△4.6%	17	13	△ 4	△20.9%	△18.2%	7.0%	5.9%
連結調整	△ 65	△ 59	6	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-

## 主要製品の売上高推移

(億円)	増減比	
サステナブル樹脂*	△4%	中国を中心として出荷が低調に推移
エポキシ樹脂	△13%	電気・電子向けで景気減速の影響を受け減収
PPSコンパウンド	+ 1%	欧州での出荷が順調に拡大
工業用テープ	△12%	モバイル用途で景気減速の影響を受け減収
中空糸膜モジュール	△13%	

\*水性樹脂、UV硬化型樹脂、ポリエステル、アクリル、ウレタン

# 連結貸借対照表

(億円)	2018 期末*	2019 1Q末	増 減
流動資産	4,097	4,685	589
有形固定資産	2,282	2,333	52
無形固定資産	138	123	△ 15
投資その他の資産	1,497	1,501	3
<b>資産合計</b>	<b>8,013</b>	<b>8,642</b>	<b>629</b>
流動負債	2,556	3,029	473
固定負債	2,184	2,330	146
<b>負債合計</b>	<b>4,740</b>	<b>5,359</b>	<b>620</b>
株主資本	3,966	3,950	△ 16
その他の包括利益累計額 (為替換算調整勘定)	△ 977 (△676)	△ 967 (△666)	10 (10)
非支配株主持分	284	299	15
<b>純資産合計</b>	<b>3,273</b>	<b>3,283</b>	<b>9</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>8,013</b>	<b>8,642</b>	<b>629</b>
期末レート USD/円	110.39	110.75	
自己資本比率	37.3%	34.5%	
有利子負債残高	2,645	3,288	643
現預金残高	198	624	426

\* 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当期首から適用しており、2018期末数値は当該会計基準等を遡って適用しています

# 連結損益計算書

(億円)	2018 1Q	2019 1Q	増 減
<b>売上高</b>	<b>1,962</b>	<b>1,907</b>	△ <b>55</b>
売上原価	△ 1,530	△ 1,511	19
販売費及び一般管理費	△ 322	△ 315	7
<b>営業利益</b>	<b>110</b>	<b>81</b>	△ <b>29</b>
金融収支	△ 3	△ 4	△ 1
持分法投資利益	9	3	△ 5
為替差損益	△ 2	△ 1	1
その他	△ 4	2	6
<b>経常利益</b>	<b>110</b>	<b>81</b>	△ <b>29</b>
特別損失	△ 7	△ 5	2
税前利益	103	76	△ 27
法人税等	△ 24	△ 18	6
当期純利益	79	58	△ 21
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 5	△ 5	△ 0
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>74</b>	<b>53</b>	△ <b>21</b>
平均レート USD/円	108.65	110.17	
EUR/円	133.61	125.09	

## 特別損益の内訳

	2018 1Q	2019 1Q
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	△ 5	△ 5
リストラ関連退職損失	△ 2	△ 0

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2018 1Q	2019 1Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	98	△ 52	△ 150
(債権流動化影響の控除後)	(+ 98)	(+ 78)	(△20)
投資キャッシュ・フロー	△ 134	△ 92	42
財務キャッシュ・フロー	640	548	△ 91
(債権流動化影響の控除後)	(+ 640)	(+ 418)	(△222)
現金及び現金同等物の期末残高	755	594	△ 161
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 36</b>	<b>△ 144</b>	<b>△ 108</b>
(債権流動化影響の控除後)	(△36)	(△14)	(+ 22)
運転資本の増減額	11	△ 167	△ 177
(債権流動化影響の控除後)	(+ 11)	(△37)	(△48)
設備投資・投融資	119	86	△ 33
減価償却費	81	79	△ 2

注) 連結キャッシュ・フロー計算書は、レビュー対象外のため、参考情報です。

## 通期の業績見通し

業績見通しは変更しないが、下振れリスク含み  
 当社製品の需要が上向く2Q（4-6月）の業績や外部環境の動向を見極めたい

(億円)		2018	2019 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比
<b>売上高</b>		8,055	<b>8,500</b>	+ 5.5%	+ 6.7%
<b>営業利益</b>		484	<b>520</b>	+ 7.5%	+ 9.4%
営業利益率		6.0%	<b>6.1%</b>	—	—
<b>経常利益</b>		487	<b>520</b>	+ 6.8%	—
<b>純利益*</b>		320	<b>350</b>	+ 9.3%	—
1株当たり純利益 (円)		338.40	<b>369.80</b>	—	—
<b>EBITDA</b>		814	<b>870</b>	+ 6.9%	—
設備投資・投融資		451	<b>425</b>	△5.7%	
減価償却費		328	<b>350</b>	+ 6.6%	
平均レート	USD/円	110.46	<b>110.00</b>	△0.4%	
	EUR/円	130.46	<b>123.20</b>	△5.6%	
ROE		10.4%	<b>11.3%</b>		
D/クレシオ **		44.7%	<b>42.7%</b>		
年間配当/株 (円)		125.0	<b>125.0</b>		
配当性向		36.9%	<b>33.8%</b>		

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

\*\* D/クレシオ：有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

# 通期のセグメント別業績見通し

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018	2019 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019 見通し
<b>パッケージング&amp;グラフィック</b>	4,347	<b>4,600</b>	253	+ 5.8%	+ 6.9%	199	<b>202</b>	3	+ 1.5%	+ 3.5%	4.6%	<b>4.4%</b>
日本	1,203	<b>1,217</b>	14	+ 1.2%	+ 1.2%	68	<b>60</b>	△ 8	△11.4%	△11.4%	5.6%	<b>4.9%</b>
米州・欧州	2,553	<b>2,717</b>	164	+ 6.4%	+ 7.7%	100	<b>96</b>	△ 4	△4.0%	△1.0%	3.9%	<b>3.5%</b>
アジア他	711	<b>790</b>	79	+ 11.1%	+ 13.4%	32	<b>46</b>	14	+ 44.1%	+ 48.1%	4.5%	<b>5.9%</b>
連結調整	△ 120	△ <b>124</b>	△ 4	-	-	△ 1	△ <b>0</b>	1	-	-	-	-
<b>カラー&amp;ディスプレイ</b>	1,241	<b>1,296</b>	55	+ 4.4%	+ 6.0%	150	<b>154</b>	4	+ 3.1%	+ 4.8%	12.1%	<b>11.9%</b>
日本	345	<b>345</b>	0	+ 0.2%	+ 0.2%	70	<b>72</b>	2	+ 2.4%	+ 2.4%	20.3%	<b>20.7%</b>
海外	1,014	<b>1,066</b>	52	+ 5.1%	+ 7.1%	79	<b>83</b>	4	+ 4.7%	+ 8.1%	7.8%	<b>7.8%</b>
連結調整	△ 117	△ <b>115</b>	2	-	-	1	<b>0</b>	△ 1	-	-	-	-
<b>ファンクショナルプロダクツ</b>	2,821	<b>2,969</b>	148	+ 5.2%	+ 6.3%	208	<b>241</b>	33	+ 15.7%	+ 17.0%	7.4%	<b>8.1%</b>
日本	2,083	<b>2,120</b>	37	+ 1.8%	+ 1.8%	140	<b>154</b>	14	+ 9.4%	+ 9.4%	6.7%	<b>7.2%</b>
海外	1,004	<b>1,123</b>	119	+ 11.9%	+ 15.3%	67	<b>87</b>	20	+ 29.3%	+ 33.8%	6.7%	<b>7.7%</b>
連結調整	△ 266	△ <b>274</b>	△ 8	-	-	1	<b>0</b>	△ 1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 354	△ <b>365</b>	△ 11	-	-	△ 73	△ <b>77</b>	△ 4	-	-	-	-
<b>連結合計</b>	8,055	<b>8,500</b>	445	+ 5.5%	+ 6.7%	484	<b>520</b>	36	+ 7.5%	+ 9.4%	6.0%	<b>6.1%</b>
USD/円	110.46	<b>110.00</b>		△0.4%		110.46	<b>110.00</b>		△0.4%			
EUR/円	130.46	<b>123.20</b>		△5.6%		130.46	<b>123.20</b>		△5.6%			

注) 2019年度より中期経営計画「DIC111」の開始に伴い、セグメントを変更しました。前年実績は変更後のセグメントに組み替えています。  
セグメント変更については17ページをご覧ください。

中期経営計画「DIC111」  
<http://www.dic-global.com/ja/ir/plan.html>



## 主なトピックス

1月 インドネシア子会社が、「DKI-Jakarta - Company Environment Performance Appraisal Program」を受賞



2月 柔らかいエレクトロニクスを実現した、無線タイプのセンサを開発



2月 世界的に代表されるESG投資指標「FTSE4Good Index」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定



2月 スイスの投資大手RobecoSAM社発行のレポートに掲載



3月 北米にPPSコンパウンドの供給体制構築を決定



# 事業セグメントと主要製品

セグメント

## パッケージング & グラフィック

売上高 4,347億円

営業利益・率 199億円 4.6%

## カラー & ディスプレイ

売上高 1,241億円

営業利益・率 150億円 12.1%

## ファンクショナルプロダクツ

売上高 2,821億円

営業利益・率 208億円 7.4%

主要製品



パッケージ用インキ  
 接着剤  
 包装材料  
 ポリスチレン  
 多層フィルム  
 出版用インキ  
 ジェットインキ  
 セキュリティインキ

機能性顔料  
 カラーフィルタ用顔料  
 化粧品用顔料  
 光輝材  
 天然系色素  
 液晶材料  
 一般顔料

サステナブル樹脂  
 水性・UV硬化型樹脂  
 ポリエステル  
 アクリル  
 ウレタン  
 エポキシ樹脂  
 PPSコンパウンド  
 工業用テープ  
 中空糸膜モジュール

世界シェア

印刷インキ No. 1

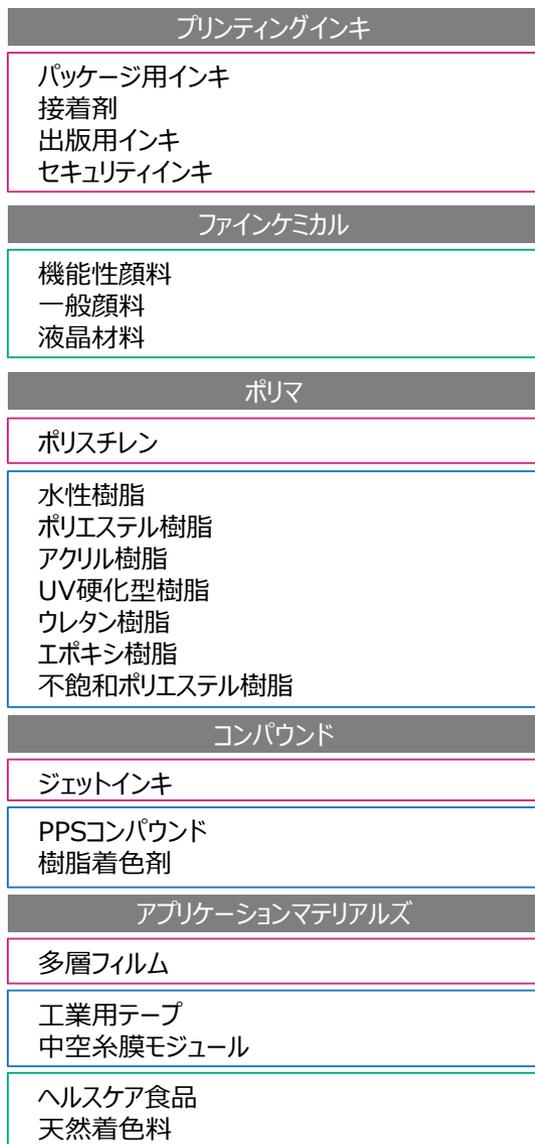
有機顔料 No.1  
 TFT液晶 No.3  
 スピルリナ No.1

PPSコンパウンド No.1

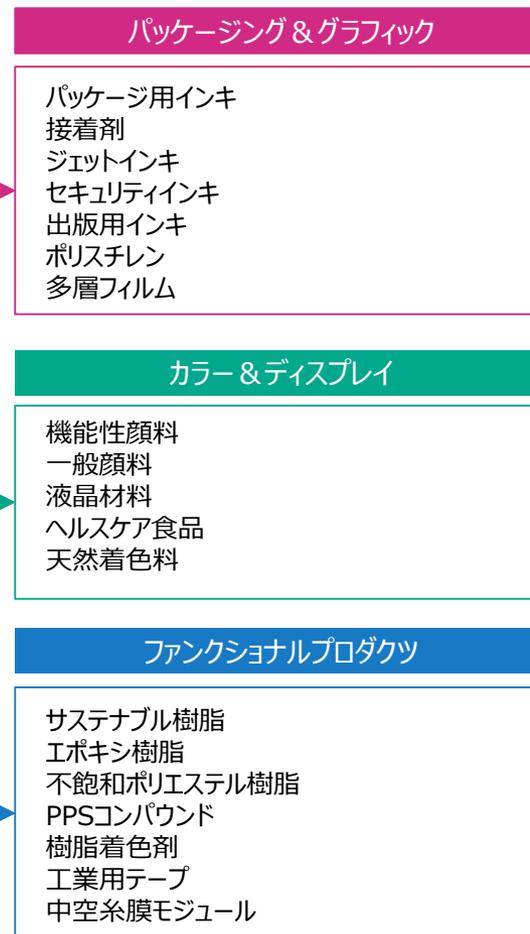
2018年度実績数値を新セグメントに組み替えています

# 新旧セグメントの主要製品

2018年 旧セグメント



2019年 新セグメント



中期経営計画「DIC111」  
<http://www.dic-global.com/ja/ir/plan.html>



# 業績の推移 (参考)

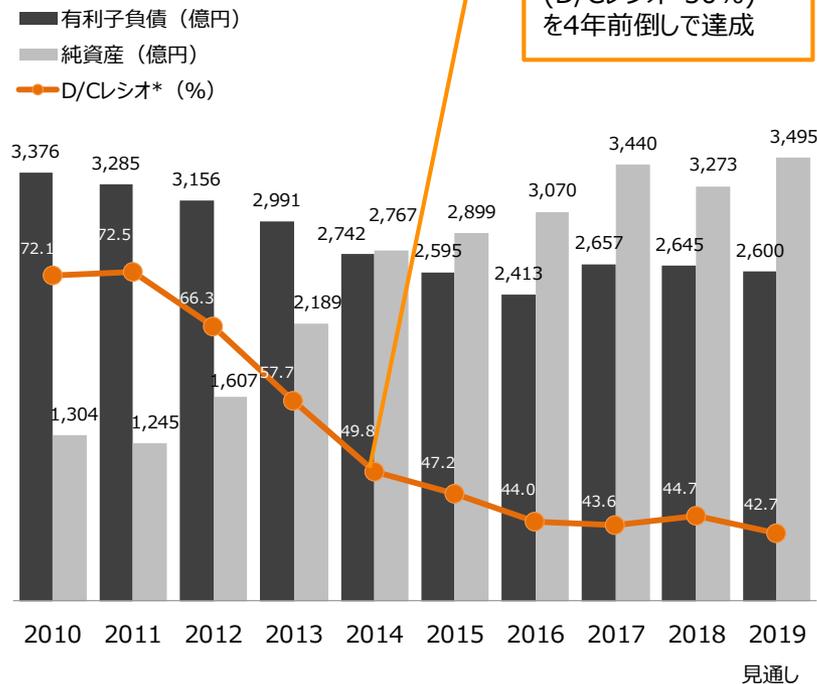
## 業績



営業利益率の改善

営業利益額の成長

## 財務体質



D/CLレシオ\*の改善

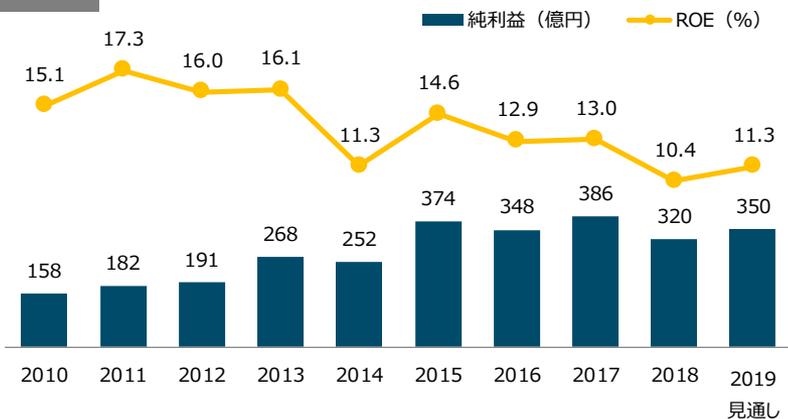
D/CLレシオ\* 50%程度

\*決算期変更の影響を調整しています

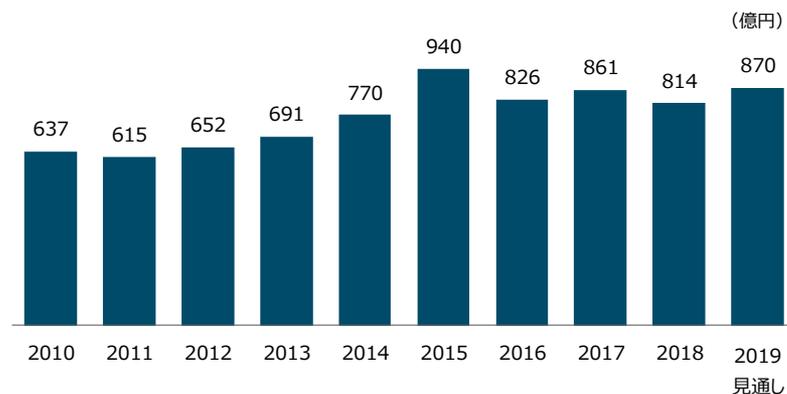
\*D/CLレシオ：有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

# 業績の推移 (参考)

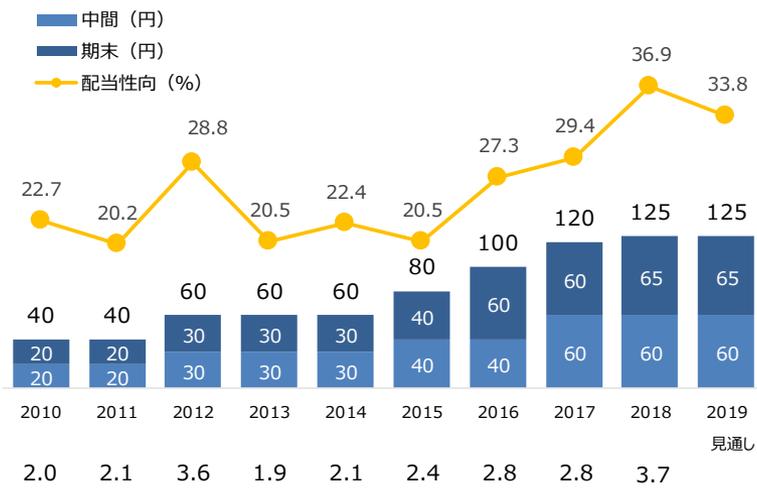
## ROE



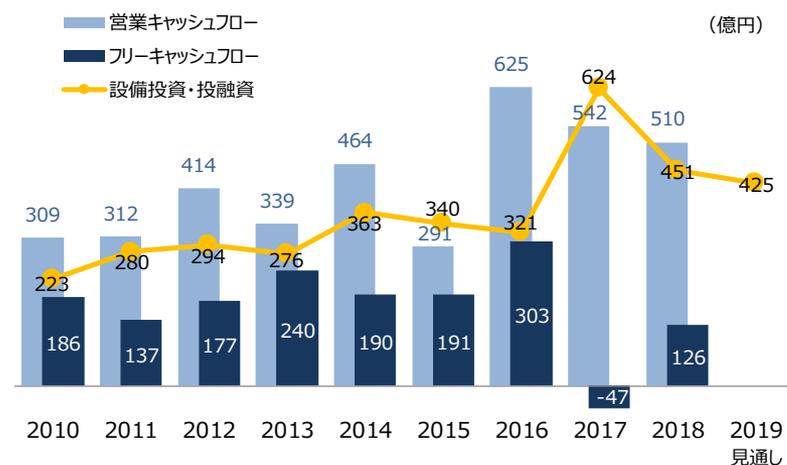
## EBITDA\*\*\*



## 株主還元\*



## 設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



\* 株式併合の影響を調整しています

\*\* 配当利回り：年間配当金/期末の株価終値

\*\*\* EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額



# Color & Comfort

## <予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。